

<ご参考>

## ■ 世界最大規模のテクノロジーの見本市 CES

CESは、「Consumer Electronics Show（家電見本市）」として始まりましたが、昨今の急速な IoT 進展によって、家電の枠を越えたさまざまな最先端テクノロジーが紹介される世界最大の展示会に成長しました。CTA（全米民生技術協会）が主催しており、現在では「CES」が名称



として採用されています。51年目を迎えた2018年には、28万㎡に及ぶ展示面積の中に3,900を超える展示ブースと300を超えるセッションプログラムを擁し、2万点を越える新製品の発表が行われました。入場できるのは、メーカー、バイヤー、投資家、メディア等、業界関係者のみ。商談や販売機会の拡大、クラウドファンディングを含む投資の呼び込み、技術交流、スタートアップ立ち上げの相談からリクルーティングまで、世界中のビジネスの交流・出会いの場であり、新しいビジネス創出の場となっています。

## ■ 最先端のテクノロジー企業を創出するユーレカ・パーク（Eureka Park）

ユーレカ・パークはCESの中で、いま最も注目されるエリアです。新しい技術やプロダクトを販売できる、もしくは開発中の「スタートアップ」限定で出展が認められていて、毎年、800を超えるニューカマーが参加します。新たなマーケットを模索するビジネスマンや、将来性が見込める投資先を探す投資家、ニュースを求めるメディアが殺到する名物エリアとなっています。

## ■ 日本のスタートアップの海外出展を応援する JAPAN TECH PROJECT

「日本の技術力を世界に届けたい」「テクノロジーの未来を担う日本企業が生まれてほしい」という思いをもった企業が集結し、プロジェクトがスタートしました。JAPAN TECH PROJECTを通して、一つでも多くの日本企業が、グローバル舞台に立って日本の革新的な技術を発信し、また、世界における最新トレンドを五感で感じ、さらに、新しいビジネスパートナーとの出会いにつなげて頂きたい、という願いを込めて進められた企画です。本プロジェクトが、企業の海外進出の後押しとなり、それが、“JAPAN”ブランドをさらに強めることに、未来の日本のテクノロジー発展につながることをめざしています。

JAPAN TECH ロゴは「風車」をモチーフとしています。CESに出展した日本企業が、世界の風を感じ



て回り始め その力で自らも回り、世界に対して新しい風を送りこむ 自立した存在になってほしいという思いを込めています。風車の連続は共同によって生まれる力があることを示し、モーションで風車が回ったり、色合いを様々に変えたりと ひとつの型に捉われない有機性・柔軟性を表現しています

## ■ JAPAN TECH PROJECT は専門性の高い 3 社で企画・運営しています！

株式会社大広

<https://www.daiko.co.jp/>



大広は、日本全国およびアジアに拠点をもつ総合広告会社です。コミュニケーション領域のみならず、スタートアップ企業のビジネスを加速させ、成功に導くパートナーとしてアクティベーションデザインのソリューションを提供し、技術シーズから新たな生活者ニーズを創出するための事業開発支援にも積極的に取り組んでいます。本活動のエンジンとなってプロジェクトを盛り上げ、日本のテクノロジーの開拓・育成をめざします。JAPAN TECH では、プロジェクトの企画・推進やブランディング、出展企業のコミュニケーションの支援を担います。

株式会社クリエイティブ・ヴィジョン

<http://www.creativevisionworld.com/>



クリエイティブ・ヴィジョンは、米国を中心とした国際展示会で、年間 50 件以上の出展を手掛ける日本企業の海外出展をサポートする専門会社です。日本初・日本で唯一の CES 公認販売代理店（2018 年 4 月時点）で、一般販売に先行して JAPAN TECH のスペースを確保。先進性を武器に「世界の先駆け」となる企業が JAPAN TECH を一つの登竜門として羽ばたくことを願っています。JAPAN TECH では、出展のサポートやブースデザイン等パビリオンの企画・運営を担います。

株式会社フィラメント

<http://thefilament.jp/>



Filament では「自ら変革しようとする人を創り、その変革を導く」というビジョンのもと、企業の新規事業創出や、人材育成に関する社内制度の設計をサポートします。製造業を含むクライアントを多く有しており、ものづくりに関するプロジェクトにも多数関わっており、スタートアップとクライアント企業のマッチングによって、双方の事業拡大のきっかけを生み出しています。JAPAN TECH では、その知見を活かしてハードウェアスタートアップ企業が CES を通じて世界に羽ばたくためのサポート役を担います。

■ お問い合わせ先 ↓ ↓ ↓ ↓ 出展やプロジェクトについてのお問い合わせは、下記にご連絡ください。

JAPAN TECH PROJECT 事務局

[info@ces-japantech.jp](mailto:info@ces-japantech.jp)